

自動車産業の大変革期における部品サプライヤー企業への支援に向けて

- 東海地域の基幹産業である自動車産業は、CASE・MaaSの進展に加えて、カーボンニュートラルへの対応など100年に一度の変革期。地域の雇用・経済を支える自動車部品サプライヤーが、新たなビジネスモデルを確立するため、地域一丸となった支援が重要。
- 東海財務局と中部経済産業局がクルマの両輪となって、双方の強み・ネットワークを活かし、金融面と産業面との両面で伴走型支援の体制を構築。

東海財務局、中部経済産業局によるワンルーフの支援体制

金融面（財務局が主担当）

・カーボンニュートラルへの対応においては、取引先企業の変革をサポートする金融機関と自動車産業界が一体となって取り組むためのプラットフォームが必要。

・重層構造の自動車産業のサプライチェーンや金融機関との取引形態を踏まえ、「自動車産業と金融機関によるカーボンニュートラルサポート連絡会」を6月8日に立ち上げ。

中堅・中小サプライヤー



- 今後の経営方針について相談したい
- 開発中の部品の技術相談をしたい
- 開発中の部品の販路を開拓したい
- 必要な設備投資について相談したい

産業面（経済産業局が主担当）

・自動車メーカー・大手部品サプライヤー企業などと協力し、企業の幅広い課題に対応するため、相談窓口の設置、専門家による伴走型支援を行う拠点を整備。

・地域の自動車産業界、企業支援機関、金融機関、自治体等の様々なステークホルダーで構成する支援ネットワークを形成し、継続的な情報共有等を実施。